

## PRIMERGY MS380 取扱説明書の追記と修正

このたびは、弊社の PRIMERGY (プライマジー) MS380 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本サーバに添付されております「PRIMERGY MS380 取扱説明書(P3F1-0250-01)」をはじめとする本装置に添付されるマニュアルに内容の追加・訂正がございますので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読み下さるようお願いいたします。

平成 12 年 11 月

富士通株式会社

### 概要

#### 1. PRIMERGY MS380 取扱説明書への追記と修正

(1) 3.3 電源を切る .....	1
(2) PRIMERGY MS380 1GHz モデル CPU エアダクトの追加について .....	2
(3) 5.8.1 電源ユニット増設時の留意事項 .....	4
(4) 6.1.2 使用するドライバと作成方法 .....	4
(5) 6.3.3 Windows 2000 Server のインストール .....	5
(6) 6.6 LAN ドライバについて.....	6
(7) 付録 A.1 本体仕様.....	8

#### 1. 『PRIMERGY MS380 取扱説明書』への追記と修正

『PRIMERGY MS380 取扱説明書』に対する追加・訂正記事を以下に記します。

##### (1) 「3.3 電源を切る」( P31)

電源切断方法を修正。

誤：

3 サーバ本体前面の電源スイッチを 2 回押します。

Windows 2000 Server 以外の OS の場合は、電源スイッチを 2 回押します。電源スイッチを 1 回押すと、LCD パネルに「\*POWER OFF OK?」と表示され、故障ランプが点滅します。点滅している間に電源スイッチをもう一回押すと、LCD パネルは「\*POWER OFF\*」に変わり、電源が切れます。電源が切れると LCD パネルには「\*STAND BY\*」と表示されます。

電源切断時の注意事項について ( OSがWindows 2000 Serverの場合 )

- ・電源スイッチを押してのシャットダウン、自動電源切断は使用できません。終了メニューからシャットダウン・自動電源切断をしてください。
- ・電源スイッチで「スタンバイ状態」または「休止状態」に移行させる場合、2回電源スイッチを押す必要があります。
- ・「スタンバイ状態」から電源スイッチを押して復帰する場合は、2回電源スイッチを押す必要があります。

正：

3 サーバ本体前面の電源スイッチを押します。

サーバ本体の電源ランプが消えます。

電源切断時の注意事項について（OSがWindows 2000 Serverの場合）

- ・電源スイッチを押してのシャットダウン、自動電源切断は使用できません。終了メニューからシャットダウン・自動電源切断をしてください。
- ・「スタンバイ状態」または「休止状態」に移行させる場合、電源スイッチを押してください。
- ・「スタンバイ状態」から復帰する場合は、再度電源スイッチを押してください。

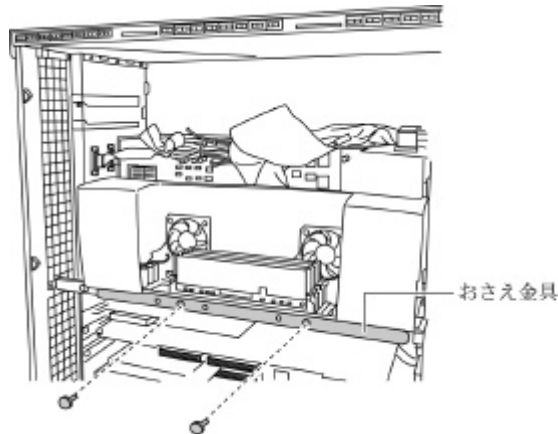
## (2) PRIMERGY MS380 1GHz モデル CPU エアダクトの追加について

PRIMERGY MS380 1GHz モデルには、CPU の冷却を効率よく行うために、専用のエアダクトを追加しています。これにともない、プロセッサメモリカードの取り外し / 取り付けを行う時には、以下のような手順となります。

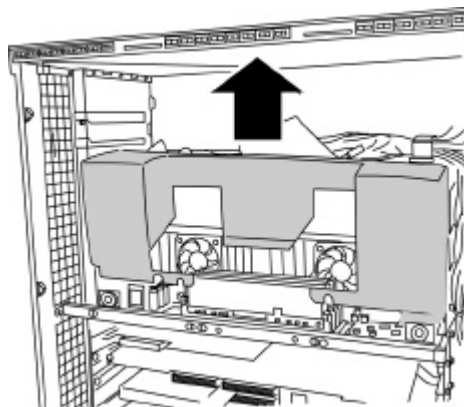
### 「5.3 プロセッサメモリカードの取り外し / 取り付け」（ P125 ）

取り外し手順

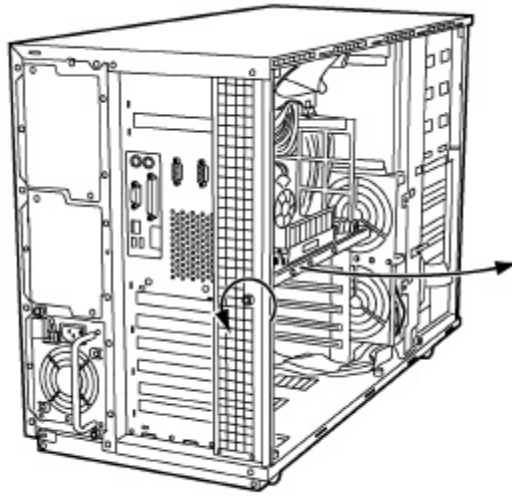
- 1 フロントカバー / サイドカバーを取り外します。  
（「5.2 フロントカバー・サイドカバーの取り外し」参照）
- 2 エアダクトを固定している 2 箇所のネジを外し、おさえ金具を取り外します。



- 3 エアダクトを取り外します。



- 4 プロセッサメモリカードを支えている金属ブラケットの左側のネジを外し、金属ブラケットを前方にずらしながら、手前に引いて外します。



#### ポイント

プロセッサメモリカードの金メッキコネクタに触れないように注意して取り扱ってください。

- 5 マザーボードのプロセッサメモリカードコネクタから、プロセッサメモリカードをガイドに沿って取り外します。

#### 取り付け手順

- ・ 取り付けは上記と逆の手順で行います。

#### 注意

CPU エアダクトを取り付ける時は、CPU ファンをさえぎらないように取り付けてください。  
ダクトが傾いたり、ファンをふさぐように取り付けられた場合、CPU プロセッサが高温になり、破損・故障の原因となります。

(3) 「5.8.1 電源ユニット増設時の留意事項」( P173)

電源ユニット増設条件を変更。

誤：

・電源ユニット増設条件

以下の条件のうち、どれか一つでも条件を満たすシステム構成とする場合は、電源ユニットを増設する必要があります。

- CPU を 2 個搭載するとき
- 内蔵ハードディスクユニットを 5 台以上搭載するとき
- PCI カードを 3 枚以上搭載するとき
- 内蔵 DLT 装置 ( GP5-DL351 ) を搭載するとき

正：

・電源ユニット増設条件

内蔵 DLT 装置 ( GP5-DL351 ) を搭載するときは、電源ユニットを増設する必要があります。

(4) 「6.1.2 使用するドライバと作成方法」( P183)

グラフィックコントローラ、LAN ドライバ、オンボード SCSI、SCSI アレイコントローラカードの各ドライバを変更。

誤：

OS	Windows 2000 Server	Windows NT Server 4.0 Windows NT Server Enterprise Edition 4.0 (クラスタ構成時) SBS 4.5	NetWare 4.2 NetWare 3.2J	NetWare 5
標準 I/O				
グラフィックコントローラ	OS 標準提供ドライバ	MS380 Display Driver V4.00.1381.2003 Disk#1, Disk#2 (*1)	OS 標準提供ドライバ	OS 標準提供ドライバ
LAN				
LAN カード (GP5-183)	OS 標準提供ドライバ	LAN カードに添付の ドライバ	LAN カードに添付の ドライバ	OS 標準提供ドライバ
SCSI				
オンボード SCSI	OS 標準提供ドライバ	MS380 Onboard SCSI Driver d3.4 Disk#1 (*1)	MS380 Onboard SCSI Driver d3.4 Disk#1 (*1)	OS 標準提供ドライバ
SCSI アレイコントローラ カード	OS 標準提供ドライバ	SCSI アレイコントローラカード に添付のドライバ	SCSI アレイコントローラカード に添付のドライバ	SCSI アレイコントローラカード に添付のドライバ

\*1) ServerWizard CD から作成します。

正：

OS	Windows 2000 Server	Windows NT Server 4.0 Enterprise Edition 4.0 (クスタ構成時) SBS 4.5	NetWare 4.2 NetWare 3.2J	NetWare 5
標準 I/O グラフィックコントローラ	OS 標準提供ドライバ	MS380 Display Driver V4.00.1381.3245 (*1)	OS 標準提供ドライバ	OS 標準提供ドライバ
LAN LAN カード (GP5-183)	OS 標準提供ドライバ	LAN カードに添付のドライバ	-	-
SCSI オンボード SCSI	OS 標準提供ドライバ	MS380 Onboard SCSI Driver V4.12 Disk#1 (*1)	MS380 Onboard SCSI Driver V4.12 Disk#1 (*1)	OS 標準提供ドライバ
SCSI アレイコントローラ カード	SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ	SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ	SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ	SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ

\*1) ServerWizard CD から作成します。

#### (5) 「6.3.3 Windows 2000 Server のインストール」( P189)

「インストール時の留意事項」に SCSI アレイコントローラカード使用時の注意事項を追加。

誤：

-

正：

- ・ SCSI アレイコントローラカード(GP5-144/145/146)の Windows 2000 環境でのご使用について  
SCSI アレイコントローラカード(GP5-144/145/146)を Windows 2000 環境でのご使用になる場合は、OS 導入時に手でデバイスドライバをインストールしないでください。OS 添付のデバイスドライバにてセットアップを行い(自動的に OS 添付のデバイスドライバがインストールされます)、セットアップ完了後、デバイスドライバをアップデートしてください。詳しくは SCSI アレイコントローラカード添付の取扱説明書を参照してください。

手順 3 の前に以下の手順を追加。

誤：

-

正：

- 3 インストール後、LAN ドライバ、SCSI アレイコントローラカード(GP-144/145/146)のドライバをインストールします。

Windows 2000 Server をインストール後、LAN カード、SCSI アレイコントローラカードのドライバをインストールします。詳しくは「6.6.1 LAN ドライバのインストール方法 ( Windows 2000 Server ) 」及び「SCSI アレイコントローラカードの取扱説明書」を参照してください。

「 SCSI アレイコントローラカード 管理ツールのインストール」を追加

誤：

-

正：

SCSI アレイコントローラカード 管理ツールのインストール

(SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合)

SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合、SCSI アレイコントローラカードに添付のマニュアルに従って、RAID 管理ツールをインストールしてください。

RAID 管理ツールをインストールしないと、OS 上で確認できないイベントのログ記録が残らないなど、アレイ管理や監視が行えません。

RAID 管理ツールには以下のユーティリティが含まれています。

- ・ DACMON(Disk Array Controller Monitor)ユーティリティ  
ディスクアレイの監視を行います。
- ・ DACADM(Disk Array Controller Administration)ユーティリティ  
ディスクアレイの管理を行うためのユーティリティです。
- ・ HDD チェックスケジューラ  
ディスクアレイ配下のシステムドライブの一貫性チェックを定期的に行います。
- ・ SMARTMON ユーティリティ  
ハードディスクの故障予測機能(S.M.A.R.T)による情報を監視します。
- ・ バッテリ情報  
バッテリーバックアップユニットのバッテリー容量の表示、警告しきい値の表示および変更を行うためのユーティリティです。
- ・ BGI ステータス  
バックグラウンド初期化処理(BGI)の状況を表示します。

詳細は、SCSI アレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

## (6) 「6.6 LAN ドライバについて」( P231)

「6.6.1 Windows NT Server 4.0 対応 LAN ドライバ」の前に以下の記事を追加。

誤：

-

正：

### 6.6.1 LAN ドライバのインストール方法 ( Windows 2000 Server )

- 1 ServerWizard CD を CD-ROM ドライブに挿入します。  
ServerWizard CD を挿入すると、ServerWizard のメニュー画面が表示されるので[Exit]をクリックしメニューを終了します。
- 2 コントロールパネルからシステムをダブルクリックします。  
「システムのプロパティ」が表示されます。
- 3 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。  
「デバイスマネージャ」が表示されます。
- 4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックすると、システムに実装されている LAN カー

ドの名称が表示されます。

[ 例：LANカードが3枚搭載されている場合 ]

「Intel EtherExpress PRO Adapter」

「Intel 8355\*-based \*\*\*\*\*」

「Intel PRO/100 \*\*\*\*\*」

表示された LAN カードすべてに以下の手順 5～12 を行います。

**注意** 本ドライバは、GP5-183 には使用できません。システムに LAN カード（GP5-183）が実装されている場合は、以下の名称が表示されますが、以降の処理は必要ありませんので、本名称は選択しないでください。

「Intel 1000 \*\*\*\*\*」

- 5 上記の名称をダブルクリックします。  
「カードのプロパティ」が表示されます。
- 6 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。  
「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」画面で、「次へ」をクリックします。
- 7 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」画面で、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 「ドライバファイルの特定」画面で、「場所指定」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 9 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」で「製造元のコピー元」に以下のフォルダ(\*)を選択し、[OK]をクリックしてください。  
D:¥DRIVERS¥DRIVER7.W2K¥CD （CD-ROM ドライブが D:の場合）  
\*) 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」で「参照」をクリックして下記のファイルを選択すると、「製造元ファイルのコピー元」に上記フォルダが設定されます。  
D:¥DRIVERS¥DRIVER7.W2K¥CD¥NET82667.inf
- 10 「ドライバファイルの検索」画面で、「次のデバイスドライバが検出されました」と表示されるので、「次へ」をクリックします。  
ドライバのインストールが開始されます。  
\*) 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、通常、上書きは行わないでください（「すべて上書きしない」を選択してください）。
- 11 「完了」をクリックします。
- 12 「閉じる」をクリックします。
- 13 設定内容を有効にするために、システムを再起動してください。

(7) 付録 A . 1 本体仕様 ( P272 )

Linux タイプ、Windows 2000 Server アレイタイプ、および Pentium III 1GHz モデルの追加にともない、以下の記述を追加いたします。

PRIMERGY MS380

モデル		ディスクレス タイプ	NT4.0 タイプ	アレイタイプ 2A / 3A		Windows 2000 タイプ
型名	Pentium® III 600EMHz(256KB)	GP538Y1A7	GP538Y1N7	GP538Y1TA7 GP538Y1VA7		GP538Y1K7
	Pentium® III 700MHz(256KB)	GP53851A7	GP53851N7	GP53851TA7 GP53851VA7		GP53851K7
	Pentium® III 800MHz(256KB)	GP538B1A7	GP538B1N7	GP538B1TA7 GP538B1VA7	GP538B1TA8 GP538B1VA8	GP538B1K7
	Pentium® III 850MHz(256KB)	GP538C1A7	GP538C1N7	GP538C1TA7 GP538C1TA7	GP538C1TA8 GP538C1TA8	GP538C1K7
	Pentium® III 1GHz(256KB)	GP538L1A7	GP538L1N7		GP538L1TA7 GP538L1VA7	GP538L1K7
CPU	周波数 / 2 次 キャッシュ	Pentium® III 600EMHz, 700MHz, 800MHz, 850MHz, 1GHz (256KB)				
	マルチ数	1(最大 2)				
メモリ	標準	256MB(256MB DIMM×1 枚)				
	増設単位	64/128/256/512MB(DIMM1 枚構成)				
	最大	4 スロット 2GB(512MB DIMM×4 枚)				
ビデオ RAM 容量		2MB				
グラフィックス		VGA チップ : ATI RAGE C(PCI) 640×480、800×600、1024×768 表示色 : 解像度、OS などによって異なる				
サーバモニタモジュール		オプション				
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類 : CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 DLT(2 ベイ占有)、1/4 インチ CRMT ユニット				
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM(ATAPI)				
内蔵 3.5 インチベイ		8 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)、全ベイホットプラグ対応				
ハードディ スク	標準	オプション	9.1GB×1 (SCSI)	9.1GB×3(SCSI) 18.2GB×3(SCSI)		9.1GB×1 (SCSI)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB(6 台のみ) (Ultra2 Wide SCSI)				
	内蔵最大	36.4GB × 6 ベイ = 218.4GB				
ディスクアレイ		オプション		標準 (*1)	標準 (*2)	オプション
拡張スロット		PCI×4、PCI / ISA 共有×1、ISA×1 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)				
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載				
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T)×1 (マザーボード標準搭載)、 シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2				
キーボード / マウス		標準添付				
外形寸法		横幅 307mm×奥行き 700mm×高さ 474mm				
質量		最大 55Kg				
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月				
消費電力		最大 490W (最大 1764KJ/h)				
電源		AC100V (50 / 60Hz) 二極接地型				
電源ユニット		標準で 1 台、最大 3 台(冗長電源可能)				
エネルギー消費効率		P 区分、0.086 (Pentium III 600EMHz)、P 区分、0.073 (Pentium III 700MHz) P 区分、0.065 (Pentium III 800MHz)、P 区分、0.061 (Pentium III 850MHz) P 区分、0.052 (Pentium III 1GHz)				

\*1) SCSI アレイコントローラカード GP5-146 が標準搭載となります。

\*2) SCSI アレイコントローラカード GP5-145 が標準搭載となります。



## PRIMERGY MS380

モデル		Windows 2000 Server アレイタイプ				Linux バンドル タイプ	Linux バンドル アレイタイプ
		9.1GB タイプ		18.2GB タイプ			
型名	Pentium® III 600EMHz(256KB)	GP538Y137		GP538Y147		GP538Y1G7	GP538Y1GV7
	Pentium® III 700MHz(256KB)	GP5385137		GP5385147		GP53851G7	GP53851GV7
	Pentium® III 800MHz(256KB)	GP538B137	GP538B138	GP538B147	GP538B148	GP538B1G7	GP538B1GV7
	Pentium® III 850MHz(256KB)	GP538C137	GP538C138	GP538C147	GP538C148	GP538C1G7	GP538C1GV7
	Pentium® III 1GHz(256KB)		GP538L137		GP538L147	GP538L1G7	GP538L1GV7
CPU	周波数 / 2 次 キャッシュ	Pentium® III 600EMHz, 700MHz, 800MHz, 850MHz , 1GHz (256KB)					
	マルチ数	1(最大 2)					
メモリ	標準	256MB(256MB DIMM× 1 枚)					
	増設単位	64/128/256/512MB(DIMM1 枚構成)					
	最大	4 スロット 2GB(512MB DIMM× 4 枚)					
ビデオ RAM 容量		2MB					
グラフィックス		VGA チップ : ATI RAGE C(PCI) 640×480、800×600、1024×768 表示色 : 解像度、OS などによって異なる					
サーバモニタモジュール		オプション				-	
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類 : CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 DLT(2 ベイ占有)、1/4 インチ CRMT ユニット					
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM(ATAPI)					
内蔵 3.5 インチベイ		8 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)、全ベイホットプラグ対応					
ハードディ スク	標準	9.1GB×3 (SCSI)		18.2GB×3 (SCSI)		9.1GB×1 (SCSI)	18.2GB×3 (SCSI)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB(6 台のみ) (Ultra2 Wide SCSI)					
	内蔵最大	36.4GB × 6 ベイ = 218.4GB					
ディスクアレイ		標準 (*1)	標準 (*2)	標準 (*1)	標準 (*2)	オプション	標準 (*2)
拡張スロット		PCI×4、PCI / ISA 共有×1、ISA×1 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)					
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載					
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T)×1 (マザーボード標準搭載)、 シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2					
キーボード / マウス		標準添付					
外形寸法		横幅 307mm×奥行き 700mm×高さ 474mm					
質量		最大 55Kg					
内蔵時計精度		誤差 2～3 分 / 月					
消費電力		最大 490W (最大 1764KJ/h)					
電源		AC100V (50 / 60Hz) 二極接地型					
電源ユニット		標準で 1 台、最大 3 台(冗長電源可能)					
エネルギー消費効率		P 区分、0.086 (Pentium III 600EMHz)、P 区分、0.073 (Pentium III 700MHz) P 区分、0.065 (Pentium III 800MHz)、P 区分、0.061 (Pentium III 850MHz) P 区分、0.052 (Pentium III 1GHz)					

\*1) SCSI アレイコントローラカード GP5-146 が標準搭載となります。

\*2) SCSI アレイコントローラカード GP5-145 が標準搭載となります。

- 以上 -